本城資源化センター整備・維持管理事業

落札者決定基準

2023 年 2 月

北九州市環境局

目次

第１章　審査方式 1

１　総合評価一般競争入札 1

２　審査の流れ 2

第２章　基礎審査の方法 3

１　基礎審査の項目 3

２　基礎審査の流れ 3

第３章　定量化審査の方法 4

１　定量化審査の基本方針 4

２　評価値の算定 4

３　加算点の得点化方法 4

４　得点化基準 4

第１章　審査方式

本城資源化センター整備・維持管理事業（以下「本事業」という。）を実施する事業者は、専門的な知識やノウハウ（設計技術力、建設技術力、経営能力等）を有することが不可欠である。このため、落札者の決定に当たっては、価格及びその他の条件（性能、機能、技術等）によって落札者を決定する総合評価落札方式を採用する。

この落札者決定基準は、総合評価落札方式で落札者を決定するにあたり、要求水準書等の内容について入札参加者から提出された事業提案書を客観的に評価する際の基準を示すものである。

１　総合評価一般競争入札

本事業の入札方法は、次のとおりである。

（１）事業提案審査

ア　入札価格の確認

予定価格は設計・建設業務費、運営・維持管理業務委託費のそれぞれについて設定する。

入札書類に記載された入札価格（本市に支払いを求める費用の合計額。）がそれぞれの予定価格を超えていないことを確認する。いずれかの一方であっても、入札価格が予定価格を超えている場合は失格とする。

イ　提案内容の基礎審査

本市は、事業提案書に記載された内容が、この落札者決定基準に示す基礎審査項目を満たしているかどうかについて先ず確認する。１項目でも基礎審査項目を満たしていないことが確認された場合は失格とする。

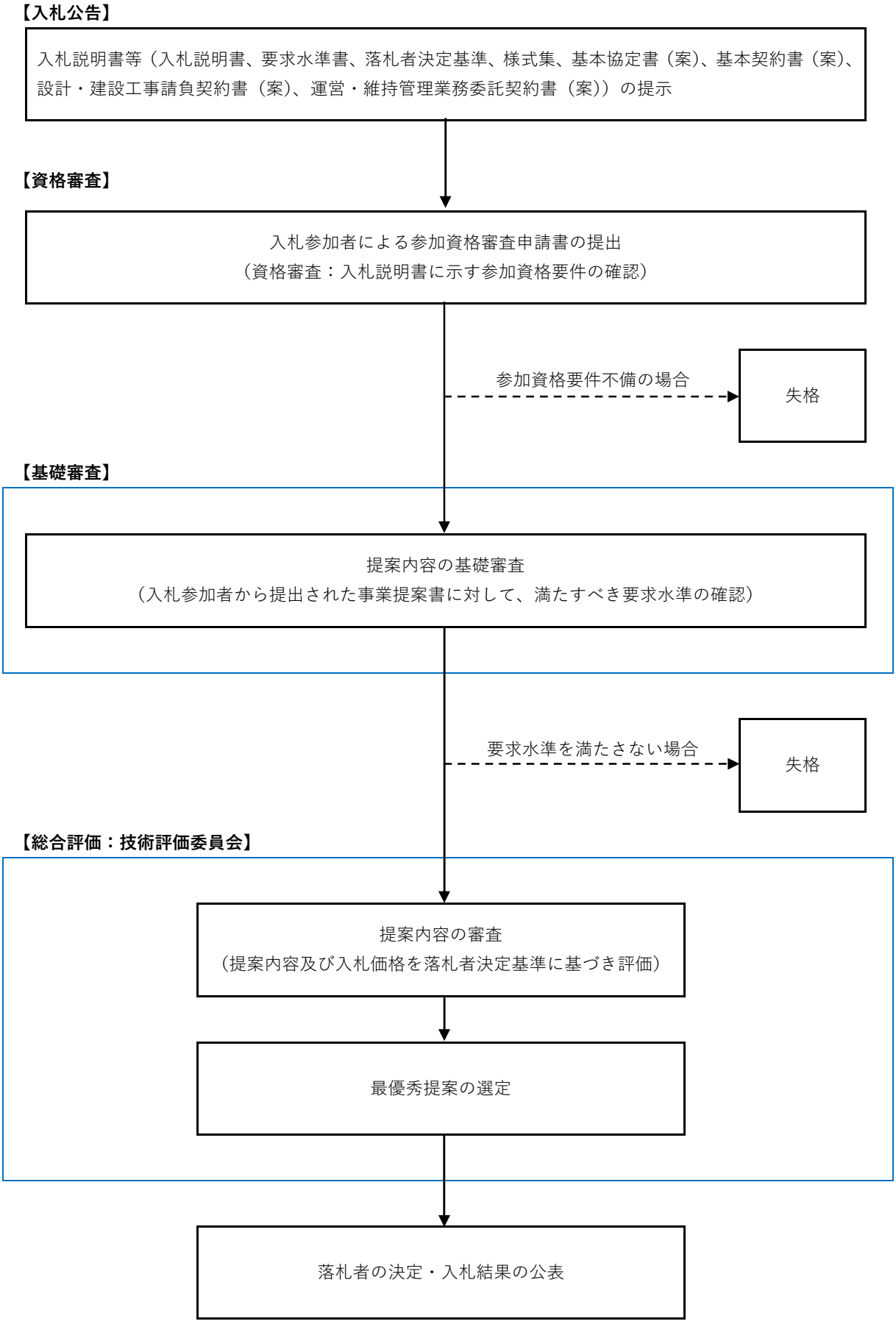
ウ　提案内容の定量化審査

次に、事業提案書に記載された内容に対して、表１（第３章に掲載）の得点化基準に則り評価する。審査項目ごとに評価の理由を明らかにした上で採点し、本城資源化センター整備・維持管理事業技術評価委員会（以下「技術評価委員会」という。）の審査を経て、事業提案書の技術評価点が決定される。

（２）落札者の決定

本市は、最も高い「評価値」を得た入札参加者を落札者とする。なお、評価値の最も高い入札参加者が２者以上あるときは、当該者にくじを引かせて落札者を選定する。

2　審査の流れ


【入札公告】
入札説明書等（入札説明書、要求水準書、落札者決定基準、様式集、基本協定書（案）、基本契約書（案）、設計・建設工事請負契約書（案）、運営・維持管理業務委託契約書（案））の提示
【資格審査】
入札参加者による参加資格審査申請書の提出
（資格審査：入札説明書に示す参加資格要件の確認）
参加資格要件不備の場合
失格
【基礎審査】
提案内容の基礎審査
（入札参加者から提出された事業提案書に対して、満たすべき要求水準の確認）
要求水準を満たさない場合
失格
【総合評価：技術評価委員会】
提案内容の審査
（提案内容及び入札価格を落札者決定基準に基づき評価）
最優秀提案の選定
落札者の決定・入札結果の公表

第２章　基礎審査の方法

１　基礎審査の項目

提案書に記載された内容が、次の基礎審査項目を満たしているか否かを確認する。

（１）提案内容の整合性

事業提案書の内容として、錯綜した提案や提案事項間の矛盾等がないこと。

（２）提案の構成

事業提案書全体について、様式集に従った構成（項目の構成、枚数制限等）となっていること。

（３）要求水準の達成

当該提案の内容が要求水準書を満たしていること。

２　基礎審査の流れ

（１）事業提案書から、全ての基礎審査項目の内容を満たしているか否かを確認する。

（２）提出書類に不備が認められたものについては、本市が指定する期日までに指摘箇所の改善対応を行う。

（３）指摘箇所の改善対応が確認できなかった場合は、失格とする。

（４）基礎審査項目を全て満たしている場合又は指摘箇所の改善対応が確認できた場合、当該事業提案書は合格と判定され定量化審査の対象となる。

第３章　定量化審査の方法

１　定量化審査の基本方針

定量化審査による事業提案書の得点が総合評価の「評価値」の算定に使われるため、表１の得点化基準については、本市が本事業に期待する事項の重要性等を勘案して設定している。

なお、本市は、本事業に対して民間の技術的能力・ノウハウ及び経営能力を活用することで、公共サービス水準の向上とともに、財政負担の削減を図ることを期待している。

２　評価値の算定

入札参加者の「入札価格」と技術評価委員会で審査・決定した提案書の「技術評価点」から「評価値」を算出する。

なお、「評価値」は次の除算方式に基づいて求める。

$$\text{評価値} = \frac{\text{技術評価点（標準点＋加算点）}}{\text{入札価格}}$$

標準点：基礎審査に合格した提案書に一律 100 点を付与する。

加算点：審査項目ごとの得点の合計。

入札価格：この場合は、設計・建設工事費用と運営・維持管理等費用の合計額。

※：評価値は、「入札価格」を億円単位として算出する。なお、算出された評価値は、小数点第 5 位以下を切捨てる。

３　加算点の得点化方法

（別紙）審査項目と配点で定める評価基準及び配点に基づき得点化する。

なお、最終的な得点は小数第１位までとする。

４　得点化基準

審査項目及びそれぞれの配点は次ページの表１のとおりである。

表１　得点化基準（審査項目の配点）

１　企業の評価

審査区分		審査項目	審査内容	様式	配点
技術・経営能力	事業者の実績	過去の同種事業実績	地方公共団体発注の同種事業（マテリアルリサイクル推進施設）における、元請としての実績件数	５－１	1
		ISO 等の認証取得	ISO9001、ISO14001、EA21 等の認証取得の件数	５－２	1
	配置予定技術者の実績	過去の同種事業に従事した実績（配置予定技術者）	過去 10 年の地方公共団体発注の同種事業（マテリアルリサイクル推進施設）において、主任（監理）技術者（特定監理技術者を含む）、監理技術者補佐、または現場代理人として従事した件数	５－３	1
社会貢献	人材育成	若手技術者・女性技術者の配置	若手技術者・女性技術者の専任配置の有無	５－４	1
	地元貢献	協力企業としての地元企業参加	地元企業の事業への参加（例えば協力企業として）の有無	２－２	2
		地元企業の活用	建設資材・維持管理資材等の地元調達、下請け等の地元からの採用、地域人材（シニア、若手）の雇用・育成への取組みといった、北九州市への貢献につながる提案の有無	５－５	2
小計					8

２　技術等提案の内容（設計・建設業務）

審査区分		審査項目	審査内容	様式	配点
設計・建設業務	周辺環境との調和	外観デザイン	立地特性を踏まえての周辺環境との調和が図られた外観デザイン	６－１	1
		配置・動線計画	配置・動線計画にみられる先進性（安全性、利便性、機能性を含む）	６－２	2
	都市モデルにおける役割	SDGs の達成	SDGs の達成に向けた施設整備計画	６－３	1
		最新技術の導入	竣工時における DX 技術などの最新技術導入計画	６－４	1
	公害防止	環境負荷の低減	環境負荷低減の具体性が認められる施設整備計画	６－５	1
	将来計画	変動への対応	資源物の質や量の変動に対応できる施設整備計画	６－６	2
	安定運転	耐久性、安全性に優れた施設・設備の設計・建設	トラブルフリーな施設・設備	６－７	2
	省エネ化	省エネ化が図られた脱炭素型施設と設備	省エネ対策	６－８	1
	災害対策	施設の強靭化策	施設の強靭化につながる対策	６－９	1
	資源循環	回収資源化物の高品質化	資源物を効率的に処理して、回収される資源化物の品質を高めるための施設整備計画	６－10	2
	作業環境	快適な就労環境	就労環境の快適さにつながる対策	６－11	8
		作業員の安全対策	作業員の安全に配慮した施設整備計画	６－12	
	長寿命化	長期安定稼働	事業終了を超える期間にわたり施設・設備を安定稼働できるようにする対策	６－13	2
小計					24

3　技術等提案の内容（運営・維持管理業務）

審査区分		審査項目	審査内容	様式	配点
運営・維持管理業務	都市モデルにおける役割	SDGs の達成	SDGs 達成に向けた運営・維持管理計画	7－1	1
		最新技術の導入	継続的な DX 技術などの最新技術導入に向けた取組み	7－2	1
	公害防止	環境負荷の低減	継続的な環境負荷低減への取組み	7－3	1
	将来計画	変動への対応	資源物の質や量の変動に対応できる運営・維持管理計画	7－4	2
	安定運転	操業時における施設・設備の運営・維持管理策	安定運転につながる施設・設備の運営・維持管理策	7－5	2
	省エネ化	省エネ化が図られた脱炭素型施設と設備の運用	脱炭素社会へ向けた取組み	7－6	1
	資源循環	回収資源化物の高品質化	資源物を効率的に処理して、回収される資源化物の品質を高めるための運営・維持管理計画	7－7	2
	作業環境	作業員の安全対策	作業員の安全に配慮した運営・維持管理計画	7－8	2
	長寿命化	長期安定稼働	30 年間の施設稼働を見込んだ運営・維持管理計画	7－9	1
小計					13

4　技術等提案の内容（事業計画）

審査区分		審査項目	審査内容	様式	配点
事業計画	事業計画	リスク管理	20 年間にわたる事業の安定性	8－1	2
		事業の引渡し	事業期間終了時の円滑な事業の引渡し	8－2	1
小計					3

5　技術等提案の内容（その他）

審査区分		審査項目	審査内容	様式	配点
その他	その他の取組み	優秀な提案	以上の提案内容に含まれない、例えば市の財政負担低減など、事業期間における有意義な取組み	9	2
小計					2

合計	50